

団体名			
つやまこどもオンステージ実行委員会	代表者	山岡 典子	記載者 足立 温美
所在地(市区町村名のみ) 岡山県津山市山下68 津山文化センター内			
活動目的 校外活動として、多彩な文化的分野で活動している津山地域の幼稚園・保育園児から高校生までを中心とした子どもたちの活性化を目指し、一堂に会して発表を行なう。			
団体の紹介 主催である つやまこどもオンステージの実行委員会を津山文化センター内におき、(公財)津山文化振興財団の共催により、平成10年から毎年12月に開催され、今回で17回目を迎えたつやまこどもオンステージ。少子化の影響を受け出演人数が減少傾向にあることでチケット収入も減少しているが、新たに確立されたジャンルも加わりながら、幅広いジャンルにわたった団体が一度に集結する合同発表会。子どもたちにとっては大きな舞台となる津山文化センターで発表を行なうことで子どもたちの個性や創造性を伸ばし、子どもたちが活躍できるような催しとして毎年、年に1度開催している。			
助成を受けての活動内容 第17回つやまこどもオンステージ 12月21日(日)、13時～20時 : リハーサル 12月22日(月)、14時～20時 : リハーサル 12月23日(火)、11時00分～ : フィナーレリハーサル、12時30分開場、13時00分開演 チケット料金 : 800円(3歳以下無料) ※全席自由 1・2F席 会 場 : 津山文化センター 大ホール 出 演 団 体 : 11団体、出演者数:242名、入場者数:838名 初参加1団体を含め合計11団体の参加で、日本舞踊、和太鼓、郷土民芸 銭太鼓・傘踊り、クラシックバレエ、モダンバレエ、タップダンス、ストリートダンス、ブレイクダンス、フリースタイル、合唱と幅広いジャンルでの開催となった。また、全団体が舞台に集結してのフィナーレでは、練習時間は少なかったものの、観客も一体となり、タップダンスを踏みながら合唱をするという初めての試みにもチャレンジし、盛り上がりを見せた。			
助成を受けての成果 今回の助成をうけ、リハーサルをはじめ、有効な舞台活用が可能となり、新たな取り組みにもチャレンジできたことで、本番では子どもたちが1年の練習の成果を津山文化センターの舞台で力いっぱい発表できる結果となった。また、予算を回せたことでスタッフによる手作りではあるものの、舞台をより盛り上げることでできる会場作りも可能となった。その他含め、出演者の皆様や観客の皆様方にもより満足いただける催し物となったことは大きな成果であった。			
今後の活動の課題点 チラシ・ポスターの配布拡大、ホームページやSNSにおける更なるPR活動はもとより、時代の流れも上手く取り入れ、参加出演者の発表の場としてより魅力的な舞台・会場作りをすることで新たな参加団体の獲得、また集客の増員を図っていく必要がある。			
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) つやまこどもオンステージ実行委員会 (津山文化センター内) Tel.0868-24-0201 Fax0868-24-1199 E-mail:bunka-c@tvvt.ne.jp			

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

第17回 つやま こどもオンステージ

平成26年 **12月23日** **火祝**

津山文化センター 大ホール (津山市山下68)

入場料 **800円**

全席自由

(3歳以下無料)

12時30分 開場

13時00分 開演

出演団体

※出演順

- 桜太鼓倶楽部
- グラスハウス
- フリースタイルダンススクール
- 日本舞踊津山こども教室
- BLADE
- 津山少年少女合唱団
- 堤ゆみ子バレエ研究所 津山教室
- オキナタップダンス教室
- 鏡野つるぎこども銭太鼓
- 山岡典子舞踊研究所
- Musica なかよし
- DA-GAN(ダンススタジオ ダ・ガン)

※ホール内での写真撮影、録音、録画はお断りします。

主催：つやまこどもオンステージ実行委員会

共催：公益財団法人 津山文化振興財団

後援：津山市教育委員会・山陽新聞社
津山朝日新聞社・テレビ津山

【お問い合わせ】 公益財団法人 津山文化振興財団

TEL 0868-24-0201 FAX 0868-24-1199

イラスト：中村あかり

(5) フィナーレ

